

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達センターみんなのおうち		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性に応じた支援ができるよう、視覚支援や環境調整などを行っている。	事前に活動環境や内容について職員間で話し合い、専門職の意見も交えながらより良い療育が行えるよう工夫を行っている。視覚的支援を行うための教材の準備や声かけの仕方などを各職員が積極的に工夫し、内容を共有している。	職員一人一人が高い療育的知識を持つことで、よりお子様に寄り添った療育が行えると思われる。また、それぞれの職種の強みを活かすために、より綿密に共有を行っていく事が望ましい。
2	保護者様に寄り添いながら日々振り返りなどでお子様の状況などを把握している。	小集団・個別療育共に活動後にふりかえりを行っており、ご家庭での困り感や悩み事などを直接お聞きする機会を設けている。	面談や行事・ご家族のご予定などでふりかえりが難しいこともあるため、その際の代替手段の確立や参加人数によっては待ち時間が発生してしまうので、ふりかえりの時間やタイミングの調整を行っていく事が望ましい。
3	職員間・関係機関と共有を行ないながら日々支援を行うことができている。	療育前の打ち合わせや日々の業務の中で自然とお子様についての話題で共有したり、何かあった際には関係機関に連絡をとり、共有を行なっている。	関係機関との連携のため、移行支援シートの活用やカンファレンス、情報提供書などを引き続き使用しながら、より強固に連携を図っていく事が望ましい。また、職員間でも共有内容を視覚的に残すことで、齟齬なく共有を行なうことが出来るかと思われる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	棚の上に登ってしまうなど、お子様の安全を考慮して活動を行えていないことがある。	職員配置の調整や活動参加人数、活動内容などの環境調整が行えておらず、活動室なども刺激が多くなってしまっている。	お子様の特性に応じた視覚的支援を行う、参加人数やお子様の特性に応じた活動環境の調整、注意が逸れにくい活動内容や声かけ、提示の仕方などを再度職員間で共有していくことが望ましいと思われる。
2	保護者向け研修会などの機会が少ない。	年1回就学に向けた保護者研修会を開催しているものの、それ以外の保護者向け研修会はほとんどなく、振り返りの中で支援方法などを伝えることが多くなってしまっている。	就学に向けた保護者研修会の他にも自宅での関わり方などを含めたペアレントトレーニングなどの研修やお子様の特性や発達に関する研修などを行うことが望ましい。そうする事で普段療育に参加して下さる保護者様だけでなく、普段は中々参加が難しい保護者様やご家族の方と共有する機会になると思われる。
3	地域や兄弟間などの利用児以外との関わりが少ない。	行事で兄弟児も参加可能にしているが、安全面を考慮して参加児1名に対し、大人1名での参加にしているため、ご家庭の事情によっては利用児しか参加できないことがある。また、人員配置や安全面を考慮しているため、野外活動が昨年度より減少しており、利用児以外と関わる機会が少なくなっている。	安全面を考慮しつつ、地域と関わるができる野外活動などが行っていけるよう職員間で話し合う。ご両親で参加しやすい日程での行事の開催などを検討し、兄弟児さんが安全かつ参加しやすいよう工夫を行っていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こども発達相談センターみんなのおうち

公表日 令和8年 2月 24日

利用児童数 60

回収数 22

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	5			①保育所訪問が無くなったのが残念でした。 ②以前よりスタッフ人数が少なくなるとともに棚に登っている子を見ると先生が見ていない時(他の子の対応しており)ヒヤヒヤする事がある。	①ご意見ありがとうございます。必要に応じてカンファレンスなどを行う事で、関係機関とより綿密な連携を取り、お子様が安心して過ごせるよう支援を行ってまいります。 ②大変申し訳ございません。お子様並びに保護者様が安心してご利用できるよう、人数や活動の調整を行ってまいります。また、職員も細心の注意を心掛けて支援を行ってまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2			①冬がとても寒い	①申し訳ございません。ご利用者様が来所される前に暖房器具などを使用し、快適にご利用できる環境にさせていただきたいと思っております。また、気になることがございましたらいつでもお声掛けください。	
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21			1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			2			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21				1	①子どもの現状や保護者の意見を踏まえて、的確な支援計画を組んでいただいています。ありがとうございます。	①ご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様に寄り添いながら、豊かな日常生活が送れるよう支援計画を作成・実行して参ります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				1	①たまにお店へ行って買い物をさせる経験や、なにか植物を育てる為の種うえ等があると子供は刺激になっていいのかなと思います。	①ご意見ありがとうございます。お子様の特性や年齢に応じた活動を行いながら、様々な経験を重ねて行ける機会を設けていきます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	2	4	2			
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21			1			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	3	1	1	①就学に向けた研修会だけでなく、子どもの理解を深められるような研修会(両親、祖父母も参加できるようなもの)があっても良いのではないかと。思う。	①ご意見ありがとうございます。職員間で共有をさせていただき、研修会開催について前向きに検討をさせていただきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	21	1			①いつも丁寧な振り返りをしてくださり、感謝しています。	①ご意見ありがとうございます。今後もお子様の様子や困り感、保護者様の悩みなどをお話していただけたらと思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1		2			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	3		1	①きょうだい同士の交流イベント等はない。	①ご意見ありがとうございます。ご兄弟同士で楽しく交流できる行事などを検討して参ります。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1		2			
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1			
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20			2			

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2		2	①対応マニュアルが策定されているのは知っているが、基準が明確にされていないのもあるように感じる。 ②ご不安な気持ちにさせてしまい申し訳ございません。職員一同再度マニュアルを確認し、円滑に対応できるよう訓練を進めていきます。また、マニュアルに記載された明確な基準を基に保護者様へ周知・説明を行っていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		2	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	2		4	①参加人数が多い日は、人数が多いが故に事故やトラブル等が発生しやすいように感じる。すぐに報告していただけるのはありがたいが、特に人数が多いときは未然に防ぐための配慮もしていただけたらと思う。 ②大変申し訳ございません。お子様が安全にご利用できるよう人数や活動を調整して参ります。また、人数が多くなってしまふ場合には半分に分けて2部屋で活動をさせていただく場合がございますので、ご理解いただけますと幸いです。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21			1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	1			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達相談センターみんなのおうち	公表日	令和8年 2月 24日
------	--------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		刺激をできるだけ減らすなどの環境調整を行っている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	5	部屋を分けて活動を行うなど人員が少ない中で支援が出来るように工夫している。刺激の調整で必要に応じて個室で対応するなど行っている。	お子さんの状況や職員数によっては、対応が難しい場面が見られる。 子どもさんの特性に応じた対応を考えた時に、職員数を増やした方がより良い療育につながると思う。 環境設定を工夫する必要があると思う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	療育の中で視覚支援を行っている。	トイレなど利用児が使い易い環境を設定する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		掃除や片付けなどを高頻度で行っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		子どもの特性に応じて臨機応変に対応できるよう、事前に打ち合わせを行っている。また、その場で職員間で連携をとり個室や必要な道具を提供できるようにしている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		イベントの時などに保護者向けにアンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修会への積極的な参加、月に1回の療育会議、LITALICOで研修動画の視聴など様々な機会が設けられている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		日々の保護者様との振り返りを大事にしている。ヒアリングを必ず行うようスケジュールに組み込んでいる。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		様々な職員・職種で意見交換ができるようにしている。(策定会議)	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		必要に応じて専門職などに提案して共有を図っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	クロジカなども活用しながら職員間で共有をしている。記録を行いながら職員同士で振り返りを行うようにしている。	状況によっては確実に出来ないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		担会、カンファレンスなどへの参加を行って連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		関係機関との連携やカンファレンス、移行支援シートの作成、情報提供書の作成などで情報共有を行なっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		必要に応じて移行支援シートを作成している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日々の療育の中で振り返りを行ないながら状況や課題について話を行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		ペアレントトレーニングなどの保護者向け研修を行うことが望ましい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		活動参加後にふりかえりをする機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		保護者同士で交流できるよう茶話会を開催している。待合室など交流の場を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		基本的にはその場で対応できるようにしている。対応できない場合は、日程調整など具体的に見通しが立つようになっている。	

非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		お便りを月一で発行している。	SNSの更新頻度が少ない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報が載っているで破棄する場合はシュレッダー、SNSのアップの際は複数職員で再確認を行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		メモの活用やPECSなど特性に応じた配慮を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		地域との関わりが少ない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	避難訓練・不審者対応訓練で様々な災害・状況を想定している。	BCPの作成が滞ってしまっている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		医師の指示書を事業所で保管していない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		不審者対応訓練を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		避難所の把握し、待合室に掲示、法人スマホの番号の周知や公式LINEで案内などを行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			